

第 3 節 中学校教育

現状と課題

第 1 項 学校規模

(1) 生徒数

中学校の生徒数は、昭和56年度から増加の傾向を示し、昭和58年度には91,915人となっている(図2-3-1)。

地域別生徒数は、会津、南会津の地域を除いて昭和56年度から昭和58年度まで増加の傾向にある(図2-3-2)。

また、地域別生徒数の予測を見ると、南会津地域は、昭和60年度以降も減少傾向にあり、県南・相双地域では昭和63年度まで、そのほかの地域にあつては昭和62年度まで増加の傾向を示し、その後は再び減少に向かうものと予測される(表2-3-1)。

図2-3-1 生徒数の推移

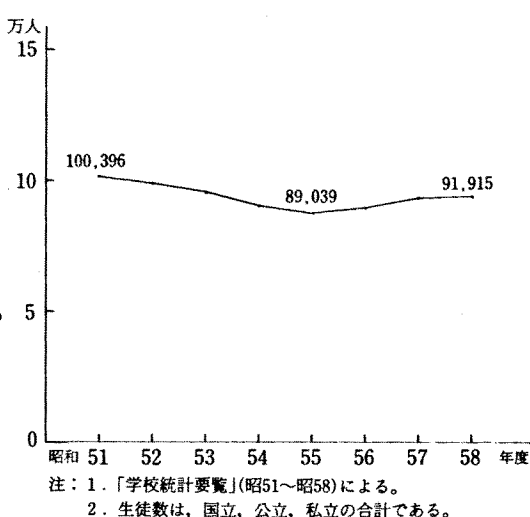


図2-3-2 地域別生徒数の推移

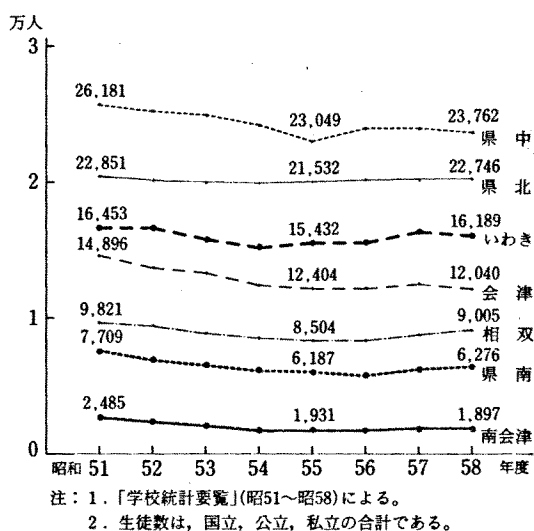


表2-3-1 地域別生徒数の予測

(単位：人)

地域	年度	60	62	63	65	70
県北		24,100	25,000	24,500	23,300	21,000
県中		24,600	25,900	25,600	24,800	23,100
県南		6,400	7,000	7,100	7,100	6,800
会津		12,200	12,900	12,800	12,500	11,500
南会津		1,800	1,600	1,600	1,600	1,500
相双		9,600	10,500	10,600	10,200	9,800
いわき		16,700	17,200	17,100	16,000	13,700
計		95,400	100,100	99,300	95,500	87,400

注：「総務課推計」(昭58)による。

したがって、今後は、県全体としての生徒数の変動を踏まえ、それぞれの地域の実態に応じた教育諸条件の整備に努める必要がある。